

Prologue

「病因論」を歯科臨床の基盤に据える

「人」としての患者を診る

時間軸で歯科疾患を診る

経験を蓄積し検証する

「過去に対する治療」と「未来に対する治療」

歯周治療こそがホームデンティストの重要な仕事

PART1 最新科学で学ぶ歯周病

[第1章] 著者と一緒に辿る 40年の歯周治療の旅

1970's 歯周病と言えば「全顎FOP」と「骨切除整形」だった

1980's 「あなた方はオーバートリートメントの傾向にあるようですね」
Ramfjordが一掃した歯周治療の10のドグマ 歯周病の多様性とSRPの威力を実感

1990's 喫煙のもたらすリスクに気づく

2000's 最新の科学が臨床の疑問を解いてくれた

[第1章のまとめ] 現在の視点で歯周病の病因論を整理してみよう
—「科学」の変遷で学ぶ21世紀の歯周治療の考え方—

1950's 歯石が原因説

1960's 非特異的ブラーク説

1970's 特異的ブラーク説

1980's 宿主と細菌の関係7

1990's 宿主と疾患修飾因子

2000's バイオフィルムによる内因性感染

PART2 歯周治療のコンセプトと実際

[第1章] 臨床判断はこう変わる 歯周治療の実際

KEY1: 歯周病の見方その1

時間軸で考える —歯周病は過去から現在の問診、考察が重要—

KEY2: 歯周病の見方その2

患者の感受性を考慮する —年齢と破壊の程度に関する情報が、術後経過の推察に重要—

KEY3: 歯周病の見方その3

患者の生活習慣を考慮する —特に喫煙の状況を把握する —現在の喫煙や過去の喫煙歴は重要な問診事項である—

KEY4: 歯周病の見方その4

患者は時間軸と共に変化する —歯周治療では、患者に寄り添う姿勢が重要—

[第2章] 地域の歯科医院としてのコンセプトと目標

KEY1: ホームデンティスト・プロフェッショナルとして 初期から中等度歯周炎は確実に治そう

KEY2: 若い人の歯周炎の発症を防ぐことに力を注ごう

KEY3: 医院力の育成と熟成に尽力しよう

Epilogue

「疾患概念」う蝕も歯周炎も疾患概念は同じである

「治療手段」歯周基本治療が最も効果的な治療である

「結論」歯周治療に魔法の弾丸はない

全5巻 順次配本!

第2巻 チーム医療で取り組む歯科診療室づくりの実践

第3巻 歯周基本治療のエッセンスとノウハウ

第4巻 メンテナンスのエッセンスとノウハウ

第5巻 最新科学が変える歯周治療のコンセプトと実際

著者プロフィール



岡 賢二 おか けんじ
大阪府吹田市開業 岡歯科医院
1977年 大阪大学歯学部卒業、
歯科補綴学第一教室入局
1982年 大阪府吹田市にて
開業現在に至る



藤木 省三 ふじき しょうぞう
兵庫県神戸市開業 大西歯科
1980年 大阪大学歯学部卒業
1985年 神戸市灘区で開業
1998年 日本ヘルスケア歯科研究会会長
現在、一般社団法人
日本ヘルスケア歯科学会 副代表



HOME DENTIST PROFESSIONAL



ホームデンティスト プロフェッショナルシリーズ 第1巻

著 岡 賢二 / 藤木省三

歯周病の 真実がわかる!

今、最もハイエンドで、堅実な
歯周治療の考え方、見方を凝縮した一冊

欧米一辺倒の情報だけでは、けして見えてこなかった歯周病の真実。それは地域で腰を据え、個々の患者の歯周病を観察し続けてきた日本の臨床医でなければ見えなかった歯周病の本当の姿でした。それが最新サイエンスと合致した今、ホームデンティストとしての日本の臨床医の仕事が光り始めます。

続々、読者の声が
届いています

これこそが、
これから必要な
歯周治療の
考え方だ!

共感しながら
あっという間に
読み切った!

著者二人の
臨床姿勢に脱帽!

HOME DENTIST PROFESSIONAL



ホームデンティスト プロフェッショナル

歯周病の病因論と 歯周治療の考え方

著 岡 賢二
藤木省三



A4判 112ページ 税込価格9,504円

発売：株式会社シエン社

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-10
TEL:03-3816-7818 FAX:03-3818-0837



インターアクション株式会社

〒180-0023 東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL:070-6563-4151 FAX:042-290-2927
URL:http://interaction.jp

ペリオドントロジーの整理とアップデートに最適

20世紀後半から21世紀にかけ、様々な変遷を辿ってきた歯周病の科学。「何が、すでに無効で、何が今も、有効なのか、また最新サイエンスは何を示しているのか」筆者が臨床経験を交えながら、その交通整理をしていきます。

1980's

「あなた方はオーバートリートメントの傾向にあるようですね」

「あなた方はオーバートリートメントの傾向にあるようですね、これは歯周治療において一般的な治療法です。あなた方は、歯周病治療において、歯肉の切除や歯根の研磨を過度に行っている可能性があります。歯肉の切除は、歯肉の厚さを減らすことで、歯肉の炎症を軽減させることができます。しかし、歯肉の厚さを減らすことで、歯肉の血行が減少し、歯肉の治癒力が低下する可能性があります。また、歯根の研磨は、歯根の表面を滑らかにすることで、歯肉の炎症を軽減させることができます。しかし、歯根の研磨を過度に行うことで、歯根の表面が損傷し、歯肉の炎症を悪化させる可能性があります。」

2000's

バイオフィームによる内因性感染⁸⁾

「最新の歯周病の概念」

「最新の歯周病の概念」

「最新の歯周病の概念」

最新の歯周病の概念

「最新の歯周病の概念」

「最新の歯周病の概念」

最新の歯周病の概念

「最新の歯周病の概念」

「最新の歯周病の概念」

1980's

なぜ、部位特異的に歯周病が起こるのか?

「なぜ、部位特異的に歯周病が起こるのか?」

「なぜ、部位特異的に歯周病が起こるのか?」

1980's

なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?

「なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?」

「なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?」

1980's

なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?

「なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?」

「なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?」

1980's

なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?

「なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?」

「なぜ、ブラーク、歯石の量が関係する人とならない人がいるのか?」

22症例で歯周病の多様性と管理の重要性を学べる

歯周病の最新科学は「歯周病は人によって実に多様であること」を示しています。しかし、どのような病態であっても「歯周組織と細菌との均衡を保つこと」ができれば、長期に口腔を歯周病から守れることを著者の長期症例で示します。

今、最もハイエンドな歯周病の見方がわかる

治療により、いったん歯周組織と細菌の均衡を取り戻しても、歯周病は、遺伝や患者の健康、人生、生活など、均衡を崩す要因に大きく影響される疾患です。本書では、その考え方をふまえた歯周病の見方を4つのKEYで解説します。

KEY 1

歯周病の見方その1 時間軸で考える 歯周病は過去から現在の同質、考察が重要

「歯周病の見方その1 時間軸で考える 歯周病は過去から現在の同質、考察が重要」

「歯周病の見方その1 時間軸で考える 歯周病は過去から現在の同質、考察が重要」

KEY 2

歯周病の見方その2 患者の感受性を考慮する 年齢と破壊の程度に関する情報が、術後経過の推察に重要

「歯周病の見方その2 患者の感受性を考慮する 年齢と破壊の程度に関する情報が、術後経過の推察に重要」

「歯周病の見方その2 患者の感受性を考慮する 年齢と破壊の程度に関する情報が、術後経過の推察に重要」

地域に貢献する歯周治療の意義と価値がわかる

患者さんとの長いおつきあいを通して歯周病の管理をしていく、これこそが「HOME DENTIST PROFESSIONAL」の使命であることを3つのKEYで解説します。

KEY 1

ホームデンティスト・プロフェッショナルとして、初期から中等度歯周炎は確実に治そう

「ホームデンティスト・プロフェッショナルとして、初期から中等度歯周炎は確実に治そう」

「ホームデンティスト・プロフェッショナルとして、初期から中等度歯周炎は確実に治そう」

KEY 2

若い人の歯周炎の発症を防ぐことに力を注ごう

「若い人の歯周炎の発症を防ぐことに力を注ごう」

「若い人の歯周炎の発症を防ぐことに力を注ごう」

全16頁のサンプル版を 小社HPでダウンロードできます <http://interaction.jp>